

産業応用フォーラム

「高速道路交通管制における ICT の利活用」

概要：交通管制システムは、道路交通の安全、円滑、快適性の確保に大きく貢献しています。その中でも、高速道路交通管制システムでは情報提供がもつ役割は重要で、道路利用者への情報提供が与える影響は大きなものとなっています。道路利用者への情報提供においては、従来の道路情報板に代表される公共性の高い情報提供設備からの情報提供が中心であった時代から、ICT の発展とともに少しずつ変わってきており、カーナビや携帯電話等のモバイル機器を対象とした個人個人の目的に合わせた情報提供の方法も開発され、今後ますます情報提供の多様化は進むものと考えられます。このような背景や状況から、情報提供の多様化などの高速道路交通管制システムの更なる高度化には、発展著しい ICT の利活用がキーになると思われる。電気学会「高速道路交通管制における ICT の利活用に関する調査専門委員会」では、このような背景を踏まえ、交通管制システムの現状や ICT 利活用の事例を調査するとともに、交通管制システムへの ICT 利活用について検討いたしました。本講習会では、これらの調査検討結果についてご報告いたします。今後の技術開発や道路管理の一助となる内容かと思っておりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：平成 30 年 6 月 28 日（木）14:00～16:30

会場：電気学会 会議室 東京都千代田区五番町 6-2 HOMAT HORIZON ビル 8 階
JR 総武線（中央線各駅停車）市ヶ谷駅下車、徒歩 2 分 TEL: 03-3221-7312
<http://iee.jp/wp-content/uploads/honbu/31-doc-honb/map.pdf>

プログラム： 司会進行：泉 隆（日本大学）

1. 14:00 開会
2. 14:00－14:10 総論 泉 隆（日本大学）
3. 14:10－14:50 ICT 利活用の現状と事例 藤本 恭平（NEXCO 総研）
佐々木 剛（首都高速道路）
4. 14:50－15:10 ICT 利活用の展開－災害と交通管制－ 山口 眞治（富士通）
5. 15:10－15:30 ICT 利活用の展開－情報提供の高度化と交通管制－ 田子 和利（名古屋電機工業）
(休憩)
6. 15:40－16:00 ICT 利活用の展開－自動運転（協調）と交通管制－ 高橋 聡（名古屋電機工業）
7. 16:00－16:20 将来の交通管制 伊藤 功（イトーコー技術事務所）
8. 16:20－16:30 まとめ 泉 隆（日本大学）
9. 16:30 閉会

テキスト：電気学会技術報告 1413 号「高速道路交通管制における ICT の利活用」をテキストとして使用します。
なお、希望者には特別価格（¥1,800）で頒布しますので、お申し込み時にその旨を記載ください。

参加費： 会員(正員) ¥3,000- (不課税) 非会員(一般) ¥4,000- (税込)
会員(准・学生員) ¥1,500- (不課税) 非会員(学生) ¥2,000- (税込)

申込方法：下記いずれかの方法より、お申し込みください。

○ホームページからのお申込み：<http://www.iee.or.jp/forum.html>

○電子メール、または FAX でのお申込み：「産業応用フォーラム「高速道路交通管制における ICT の利活用」参加申し込み」と題記し、会員／非会員の別、氏名、所属、連絡先（住所、電話、ファックス、電子メール）、テキストの要・不要の別をご記入の上、6 月 18 日(月)までに下記へお申し込みください（定員 50 名に達し次第、締め切らせていただきます）。

日本大学 泉 隆 Fax 047-469-5657, e-mail: izumi@ce.cst.nihon-u.ac.jp

参加費支払い方法：参加費は、当日に現金でお支払い願います。領収書は、原則としてフォーラム当日の日付で会場渡しとなりますが、その他のご指示がある場合は申込時にご連絡ください。

主催：電気学会産業応用部門 ITS 技術委員会（細野裕行 委員長）